

令和7年度 第1回 豊岡小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月15日（木）14：15～15：45
- 2 開催場所 豊岡小学校 相談室
- 3 出席委員 中川秀三 鈴木登志郎 大津和也 野末のぞみ 相曽司 山田万祐子
奥田真理
- 4 欠席委員 細川健太郎 疋田和俊
- 5 オブザーバー 三方原協同センター 夏目聖
- 6 学 校 泉澤伸広（校長）大村幸代（教頭）池谷崇仁（主幹）宮崎祐実
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター宮崎祐実

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員より中川委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。またその後、会長に選任された中川委員から山田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、多くの委員より相曽委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 前回会議録、令和7年度協議会自己評価の確認

教頭より前回の資料を基に報告があった。

12 協議事項

- （1）学校運営の基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）コミュニティ・スクールの活動について

13 会議記録

司会の大村教頭から委員数9人のうち7人の出席があり過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 子供たちに何かあった場合学校側はどのような対応をしていくのか、さくら連絡網にも記載してほしい（山田委員）
- ・ 不登校の子供たちも遠足には参加できている。何か別の方法で子供たちが登校出来るようになるのではないかと（鈴木委員）
- ・ 不登校の子供たちにはこれからどのような対応をしていくのか（大津委員）
- ・ 不登校の子供達が学校に来ることができるようになった結果をデータ化して提示したらどうか。数字で分かりやすくしたらどうか（大津委員）

- ・ 何もかも学校が対応するのは無理があるのではないかと。本来、学業を教える教員

が生活指導メインになってしまっている気がする。先生方の負担も大きいのではないか。（夏目オブザーバー）

- ・ 学校の『いつでもまっているよ』という言葉や姿勢が、子供たちの心の支えになっている。学校は『安心できる場所』になってほしい。家庭環境も大切。（奥田委員）
- ・ 学校の外でも子供に対して不適切な対応をしている親をみると、親も変わるべきではないかと感じることがある。（中川委員）
- ・ 不登校の数字をデータ化して提示するのは、保護者や子供たちもそれを見るということ。繊細な子供たちには良い影響を与えないのではないか。不登校の子供達が学校以外の学びの教室を選択できることも大切。学校の子供たちへの指導は学校全体で行っている。先生方の負担も増えないようにボランティアさんにもお願いしている。家庭、学校、地域のみなさん全員で連携して子供達を支えていきたい。先生達が笑顔で過ごせる事で、子供達へも良い影響を及ぼすのではないかと。（校長）

熟議の結果全員異議なくこれを承認した。

（２）夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から別紙資料に基づき『夢育やらまいか事業』について説明があり、全員意義なくこれを承認した。

（３）コミュニティ・スクールの活動について

議長の指示により、野末委員より活動内容の説明があった。

遠足では 69 名のボランティアの参加があった事、参加者からの感想が池谷主幹より報告があった。

- ・ 良い感想を多く頂き、今後も多くの保護者に参加していただけたら嬉しい（野末委員）
 - ・ ボランティアの募集方法をもっと工夫してみたらどうか（大津委員）
 - ・ コミュニティ便りやさくら連絡網でも募集を継続していきたい（山田委員）
- 熟議の結果全員異議なくこれを承認した。

その他

次回会議は 9 月 12 日（金曜日）13 時 15 分から豊岡小相談室で開催する旨の報告があった。